

設置の動機

- 太陽光発電で儲かることは無いが、エコには繋がるので。
- 子供が小さい今が電力も作り時で売り時と思った。
夏の猛暑日電力を皆で取り合いみたいな事になるなら自分で作る。
そのため住み替え、建て替えにも対応すると聞いて中古の家に載せた。
- 南に藤原岳がそびえ、日の入りが早く条件は悪い山間地域で、また、雪も多く降るがCO₂発生を少しでも減らせることに協力できると思い設置した。

設置してよかったこと、設置してから気をつけるようになったこと

- 我が家では去年光熱費より売買収入の方が多かった。
- オール電化と組み合わせることで、大きく光熱費を削減できる。
- 設置により節電意識が高まった。
- 初期投資が高く、悩んだが今は満足している。子供と一緒にモニターが赤く(買電)なったり、緑(売電)になったりすることを楽しんでいる。
- 現在は買い取り金額が高いので(48円/kWh)10年くらいで元が取れる。
- 旅行に行く時以外は毎日19時から21時位でデイトタイム、ホームタイム、ナイトタイム別に記録を取り続けているが、日記などを書き忘れた時に太陽光発電量で、その日の天候が大体わかるので便利。
- 付けてから無駄な電力を使わないように心配りが出来るようになった。
天気が良い時は電力が楽しみである。
- 自給自足を感じられて嬉しい。
- 設置したことによってモニターで発電量や消費量をチェックしたり家電を使う時間を減らしたりと、意識的に省エネを心掛けるようになった。
- 月々の光熱費が以前より減ったが、設置費用やメンテナンス、載せ替えで負担があると思う。
金銭的な損得では分からないがモニターで使用料・発電量が目に見えて分かるので子供たちには電気の無駄使いしないという姿が自然と身についた。
- エコキュートにすることにより、光熱費の節約を検討し、補助制度も活用して設置。売電量の単価アップ(24円→48円kWh)により、光熱費は最大でも15,000円となり、ガス、電気共用の時に比べ15,000円位となった。家族にも節電する心がみえてきた。
子供たちにも部屋の電気を消すようになり、良かった。
- 主人が定年を迎え光熱費の多さが課題であった。
そんな時、息子の新築にあたり太陽光発電の効果をこの目で確かめ、設置。
30万円近くあった年間光熱費がほぼゼロになったことはとても満足している。オール電化にしたこともあり、355万程かかったが、一層節電を心掛ける。
リフォームとしては相当経費が必要である。やはり新築時がよい。
- 光熱費の助けとなり家計に助かっている。
- エコキュートでお湯を沸かす時、時間を深夜に設定してあるので電気代の節約に繋がっている。

- 売電の振替口座を家族の旅行貯金としている。
- 設置前の光熱費と比較すると光熱費ゼロどころか、かなりのプラスで8年くらいで元が取れそう。
深夜電力もフル活用で生活自体が大幅に変わった。
- 一年間通して日光の当たり具合を確認。
- 節電意識が高まり、モニターでいろいろなデータを見るようになった。
- 昼間の自家消費電力を少なくするよう努力している。
- 発電モニターで消費電力をこまめにチェックすることで、電気代を節約する意識が芽生えた。
- 夏は使用した分よりも多くの売電料金を頂いた。休日の晴天時にモニターを見るのが楽しい。
- 使用しない電化製品はコンセントを抜く。
- 日中の家事を深夜時間帯にするようにしている。
- 自分たちが使うエネルギーについて益々気を付けるようになるようになった。

設置したが期待外れだったこと、設置後に起きた想定外のこと

- 子供が産まれる前の消費電力量を算出したが、大きくなるにつれて消費量が上昇している。
パネルは高いが将来を見た設置が必要。
- 積雪の日は全く発電しなかった。
- 鈴鹿山麓のため、雪の大きな塊が出来て太陽光線を遮り効率が悪い。
- 設置後13年経過後、発電量約10%低下。はんだ付け部分などを全数点検、補修。5枚取り替えた。
- ローンで設置したので、月々の支払が約20,000円で15年。かなり辛い。
- 売電価格の方が高いので5月～10月まではプラスですが、それ以外はマイナス。
- 屋根に雪止めがあると、パネルに乗った雪が流れ落ちない為、発電するまでに時間がかかる。
- 平屋部分と2階部分の屋根に設置したところ、13時頃から影になり、発電量が急減するので注意。
出来れば影にならない屋根に設置する事。
- 太陽光発電は元を取ろうと考えての設置はやめた方がいい。
- 平屋建ての小さな家の屋根に張り付けた。両隣が2階建てなので立地条件では悪い。
天候に左右されるのでその年によって発電量に差が出る。
- 太陽光パネルの設置方向は南向きが一番効率は良い。
我が家は南東なので午後から日照が少なくなる傾向あり、午後3時になると急激に発電量が減少する。
- 年金生活者にとって売電価格が少なくとも、雑所得として年金合算して確定申告しなければならない。
償却期間や償却金額など分からないことだらけであった。
- 設置したがアフターケアが全くない。何年も経っているので点検などあっても良いではないか。
- 設置費用に対して売電額が少ない。

設置する際に気をつけておけばよかったこと

- 屋根に載せられるだけ載せておけば良かった。
- パネルの方向は大切。陽が出てパネルの裏に回ると発電しないので損。
- 午後に発電量が低下する。設計時に太陽光発電の有効性もっと考慮すべきだった。
- 南向きでも設計者はデザインだけを考慮して設計するのは問題である。
最初から設置が前提条件であったにもかかわらず、残念な設置であった。
- 発電能力を決める時は設置出来る最大の容量を選択すべきだった。
- 新築時に設置を考慮しなかったため、後載せになってしまい、屋根の形でパネルがあまり載せられなかった。ハウスメーカーとパネルメーカーで連携を取ってほしい。
- もっとkWの大きいものを設置した方が良かったかと思う。
- 設置する場合、屋根に載せられるだけ設置した方がよかった。中途半端な規模では発電量が少なく、後からパネルを追加しようと思っても時間、手間、お金がかかってしまう。
- 購入時に妥当な市場価格が分からなかった。設置業者に安くするとわれ、その値段で購入したが適正な価格であったかは疑問。
- 新築時に設置する時、特に周囲に家が建っていない場合、日照権も含めて予想を立てる事。
太陽光は当然だが、季節変動と天候に左右されるので。

今後について気掛かり、心配なこと

- 屋根が心配。
- 新築時に設置は賛成であるが、後で設置するのは雨漏りなど色々問題がある。
新しいちはいいが、5年10年過ぎるとメンテナンスが心配である。
- パネルが長時間放置されるので、発電値向上の為、汚れの洗浄サービスを考えてほしい。
- まだ新しいので今はいいが10年後くらいにどれ位修理費がかかるのかわからないのが不安。
- アフターサービスはないのか。取り付けっぱなしはどうかと思う。何をもって故障というのか、
汚れは雨で流してくれるというが、黄砂はどうなのだろうか。
- 設置メーカー以外から電話があり、太陽光パネルなど掃除させてほしいと言われたが断った。
設置して5~6年だが掃除、点検は必要なのか。
- 耐用年数がどれくらいか不安。
- 故障の修理費が心配。
- 鳥の糞や風など、汚れは自然にまかせておけばいいのか。
- 昨年隣に家が建ち、屋根部分が太陽光発電パネルを覆ってしまい、かなり発電量が減ってしまった。
恐らく償却が不可能と予想している。
- パネルに太陽があたる部分とあたらない部分の差が大きく、故障の要因になるのではと心配である。
- 設置時は予算面から少ない設置であった。途中増設し、買取額が48円になったので、
我が家の光熱費ゼロ。今の買取額を維持してほしい。

アドバイス全般

- 設置時に、自家の位置と発電パネル受光に影を落とすような物などに注意。
特に発電量の多い昼間、なるべく発電する方法を考えること。
- 発電量の効率は五月が一番。
- パネルを雑巾で拭くと発電量が半分近く上がる。
- ソーラーパネル発電は、気温が高い夏のような日ではなく、光が多い、それも澄んだ日に多いことが分かった。
- 光をたくさん取り入れられる様な方角や傾斜を考えるべき。
- 停電時に太陽光で発電してくれれば便利で安心だが。
- 月によっては電気代より売電量が上回ることがある。
- 設置面積あたりの出力を多くしたい場合、効率のよい単結晶モジュールがよい。
- 周囲に影になるような障害物が無いか確認する必要がある。
- 家庭でオール電化にした場合、どの位の使用電力量があり、それを太陽光発電にすると何kWh位が必要になるかなどを試算し、見積もりを立てて導入した方がよい。
- 昼間発電した電気は売電し、夜の電気代が安い時間帯に電気を買うのがよい。
- 各メーカーの比較したものを調べてみた方がよい。
- パネルを載せる屋根は南一面が理想だが東や西でも大丈夫である。新築でなくてもよい。
- 設置角度は30度がベスト。
- 我が家は5.5kWを搭載しているので電気代はほぼゼロ。また屋根も大きく影響する。
切妻屋根が一番適切かもしれない。
- 補助金の確認が必要。
- 長期保証も確認した方がよい。
- 屋根の形状、材料により費用の格差あり。切妻屋根は標準パネルのみ。
寄棟屋根は標準パネルプラス台形・三角で割高になる。瓦タイプ／スレートタイプ／瓦棒タイプなどにより支持金具、受け枠など違いがある。
- 子供2人、大人2人の4人家族だが、年間通すとほぼ光熱費ゼロ。
住宅メーカー曰く、20年以上発電すると、設置費用の元がとれるようである。
- 新築や、家の寿命が20年以上あると考えられる方にはメリットがあると思われる。
- パワーコンディショナ交換やパネル受光清掃などメンテナンスが必要なことも考えて設置した方がよい。
- 昼間の購入費は高価なので、自家発電分で昼間使った方が効率的。
- 屋根は切妻の方がパネルが多く載る。多少イニシャルコストが高くても屋根に一杯載せる方がよい。
- 導入に多額の費用がかかるが、長い目で見れば家計の負担を大幅に軽くしてくれる上、環境に優しいので多くの人に設置をお薦めする。
- 不審業者もいるので十分に調査した上で導入した方がよい。
- 新築時のハウスメーカーの10年点検を機会に太陽光発電を設置した。
信頼できる業者をお願いするのが一番よい。

- パネルの重量はそれほど重いものではないので築30年の家でも大丈夫。
築後何年しか経ってないので有利ということはない。
- 太陽光発電だけに頼るのではなく、エアコン・テレビなど、家電も最新モデルに一新したことが消費電力を抑えることに繋がっている。
- 万人にお薦めできるシステムではない。日当たり、家の方角などで、自分が設置した時はお得感がほとんどなかった。
- 太陽光パネルと工事費がもう少し安く、また日本瓦でも設置出来たらエコ効果も大きくなると思うが、屋根も家に設置しているので台風時に工夫も必要である。
- 太陽光発電は、先行投資。長い目で見ると元が取れると思う。
資金に余裕がある方は設置を検討されると良い。
- 売電価格が上がったため、光熱費は随分助かっている。しかし、消費電力量(購入電力量)と売電量(太陽光発電量)の差をみると、随分消費しすぎていると思う。もっと省エネに努めたい。
- 我が家は切妻の瓦タイプ。そのため、支点部の既存瓦を工場製品の支持瓦に交換した。
工事中足場設置が難しかった。
- 新築時に設置する可能性があるのであれば、屋根の形、向きなどを考慮に入れて設置すべきである。
- 今後のメンテナンス費用や設置時の初期投資やそのローンの利子を考えるとあまりプラス要素がないが、家族の電気に関する意識が変わった。